

第3回 佐々町
住民福祉意識調査 報告書

(平成23年6月)

社会福祉法人 佐々町社会福祉協議会

住 所:〒857-0312
長崎県北松浦郡佐々町市場免 23 番地 1
Tel0956-63-5900 fax0956-63-5100
URL <http://www.sazafukushi.jp>
E-mail saza@fukushi-net.or.jp

1. はじめに

佐々町社会福祉協議会では、これまで、平成9年と平成18年に各種団体員等の中から抽出した方々を対象として、「住民福祉意識調査」を実施いたしました。

今回は、広く町民の方々の福祉ニーズを把握すると共に、ご意見やお考えをお聞きして、第8次地域福祉活動計画策定の基礎資料とするために、町内会を通じ、加入全世帯（4,335世帯）を対象として調査を実施しました。その結果、1,778通で、回収率41.01%のご協力をいただくことができました。

今回の調査では、前回の2.9倍のご回答をいただき、中でも男性の回答者が全体の36.9%と前回の24.1%から大きく増加しております。

本社協では、地域の方々のご理解とご協力により「地域デイサービス」をほとんどの町内会で実施しており、介護予防と生涯学習の面から高く評価されております。

また、小地域における高齢者、要援護者等の見守り活動や地域住民同士の助け合いの精神を基盤として、家事援助や身体介護を中心とした在宅サービス等を実施して参りましたことは、本社協の先進的な取り組みであるといえます。

本社協では、今回の第3回住民福祉意識調査の結果と地域福祉懇談会等のご意見、ご要望も参考として、本社協が推進する地域福祉は、如何にあるべきかを研究・検討し、町民皆様のご期待に添うべく、第8次地域福祉活動計画の策定に取組み、住民の福祉ニーズを大切にして、これからの地域福祉に反映して参りたいと考えております。

今回の調査にあたり、町内会長様をはじめ町民皆様、関係の方々のご指導とご協力に対して、心から感謝申し上げます。

なお、この「第3回住民福祉意識調査 報告書」をご一読いただき、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。

平成23年6月

佐々町社会福祉協議会
会 長 本竹 文雄

第3回佐々町住民福祉意識調査 報告書

【目次】

1. はじめに・・・佐々町社会福祉協議会 会長 本竹 文雄

2. 調査の概要
 - (1) 調査対象 4, 335世帯
※平成22年12月1日現在の町内会加入世帯

 - (2) 調査期間・方法、回答状況
 - ①調査期間 平成22年12月1日～平成23年1月15日

 - ②調査方法 1) 多肢選択法（単一回答および複数回答）アンケート
2) 町内会長様を通じて町内会に加入している全世帯に配布、郵送および町内会を通じた回収を実施

 - ③回答状況 1, 778通 / 回答率41.01%

3. 調査項目
 - (1) あなた自身のことについて（問1～問7）・・・3頁～5頁
 - (2) 町内会でのお付き合いについて（問8～問9）・・・6頁
 - (3) 福祉について（問10～問17）・・・・・・・・・・7頁～9頁
 - (4) 老後の生活について（問18～問20）・・・・・・・・10頁～11頁
 - (5) ボランティア活動について（問21～問22）・・・11頁～12頁
 - (6) 社会福祉協議会について（問23～問29）・・・12頁～14頁
 - (7) 自由意見について・・・・・・・・・・15頁～20頁

4. おわりに

◎調査対象数および集計結果について

今回の調査は、平成 22 年 12 月 1 日付、町内会加入の全世帯 4,335 世帯を対象として行いました。

回答率は 41.01% (1,778 通) の回答がありました。性別・年齢等の記入のない調査票もあり、本報告書は有効回答数 1,677 通の回答結果を基礎として、集計・考察を行っております。

これまでの調査対象者数

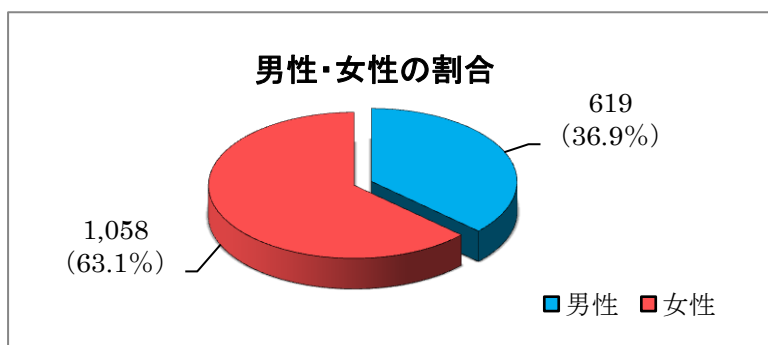
区分	平成 22 年	平成 19 年	平成 10 年
男性	619	137	252
女性	1,058	431	519
合計	1,677	568	771

問 1. あなたの性別をお聞かせください。

<考察>

①男女別の回答結果では、女性が 1,058 通と全体の 63%を占めています。

②前回 (平成 19 年実施) の調査でも女性が 75.9%を占めていました。



問 2. あなたの年代をお聞かせください。

<考察>

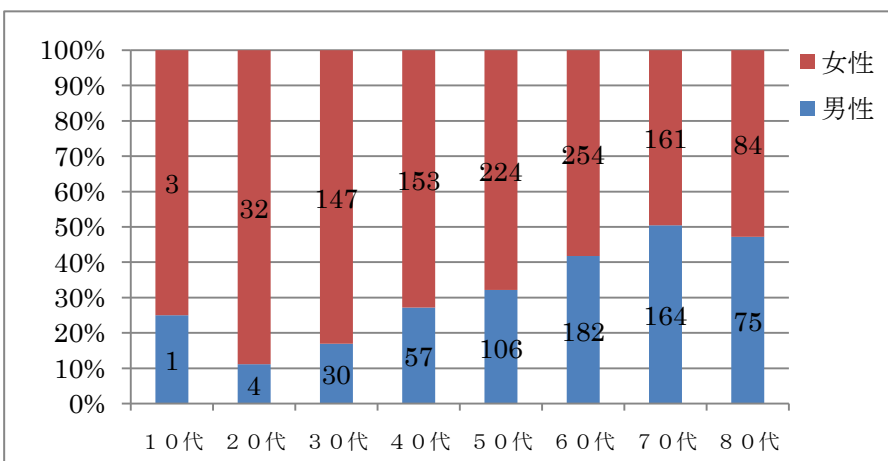
①男性・女性とも 60 代の回答数が最も多く、全体の 26.0%を占めています。

②60 代・70 代・80 代の回答数を合計すると全体の 54.9%を占めています。

区分	性別・年代別 回答結果					
	男性		女性		全体	
	数値	割合	数値	割合	数値	割合
10代	1	0.2%	3	0.3%	4	0.2%
20代	4	0.6%	32	3.0%	36	2.1%
30代	30	4.8%	147	13.9%	177	10.6%
40代	57	9.2%	153	14.5%	210	12.5%
50代	106	17.1%	224	21.2%	330	19.7%
60代	182	29.4%	254	24.0%	436	26.0%
70代	164	26.5%	161	15.2%	325	19.4%
80代	75	12.1%	84	7.9%	159	9.5%
計	619	100.0%	1,058	100.0%	1,677	100.0%

③年代別の男女比率を見ても、70 代以外は、女性が半数以上を占めています。

④女性の回答結果から 30 代と 40 代の回答数を合計すると全体で 28.4%となります。

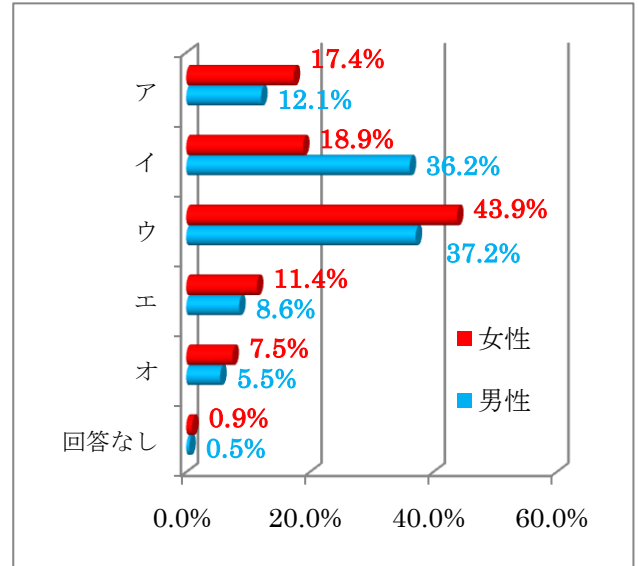


問3. あなたの同居している家族構成をお聞かせください。

- ア. 単身（ひとり暮らし） イ. 夫婦（2人暮らし）
 エ. 親・子・孫の3世代 オ. その他

ウ. 親子2世代

設問	回答/性別	数 値		
		男性	女性	合計
問3	ア	75	184	259
	イ	224	200	424
	ウ	230	464	694
	エ	53	121	174
	オ	34	79	113
	回答なし	3	10	13
	計	619	1,058	1,677



<考察>

①男性・女性とも「ウ. 親子2世代」の回答が最も多く、全体でも41.4%を占めています。

②女性の「ア. 単身（ひとり暮らし）」の割合が、男性より5ポイント以上高くなっています。特に、60代を比較すると、男性は9.8%、女性は18.1%と約2倍となっており、女性のひとり暮らしの割合が高くなっています。

③「イ. 夫婦（2人暮らし）」の回答率が、女性18.9%に対し、男性では約2倍の36.2%となっています。

問4. あなたと同居している家族の中に次の方はいますか。

- ア. 未就学児 イ. 学生（小中高大学生）
 エ. 介護を必要とする方 オ. 障害のある方

ウ. 65歳以上の方

カ. いずれもない

設問	回答/性別	男性		女性		合計	
		数値	割合	数値	割合	数値	割合
問4	ア	30	3.8%	160	12.9%	190	9.4%
	イ	96	12.2%	284	23.0%	380	18.8%
	ウ	172	21.9%	216	17.5%	388	19.2%
	エ	31	3.9%	50	4.0%	81	4.0%
	オ	146	18.6%	61	4.9%	207	10.2%
	カ	263	33.5%	418	33.8%	681	33.7%
	回答なし	47	6.0%	47	3.8%	94	4.6%
	計	785	100.0%	1,236	100.0%	2,022	100.0%

<考察>

①男性・女性とも「カ. いずれもない」と答えた方が最も多く、全体の約3割を占めています。

②男性の回答結果より、「オ. 障害のある方」と回答された方が数値で146ポイント、割合でも18.6%もあり、女性の回答割合の約4倍になっています。

問5. あなたの職業は何ですか。

- ア. 会社員・公務員 イ. 農林漁業 ウ. 自営業 エ. 学生
 オ. アルバイト・パート カ. 専業主婦 キ. 無職 ク. その他

設問	回答/性別	男性		女性		合計	
		数値	割合	数値	割合	数値	割合
問5	ア	152	24.6%	153	14.5%	305	18.2%
	イ	55	8.9%	13	1.2%	68	4.1%
	ウ	62	10.0%	83	7.8%	145	8.6%
	エ	1	0.2%	2	0.2%	3	0.2%
	オ	24	3.9%	170	16.1%	194	11.6%
	カ	0	0.0%	302	28.5%	302	18.0%
	キ	279	45.1%	283	26.7%	562	33.5%
	ク	39	6.3%	41	3.9%	80	4.8%
	回答なし	7	1.1%	11	1.0%	18	1.1%
	計	619	100.0%	1,058	100.0%	1,677	100.0%

<考察>

- ①問2より、60代～80代以上の回答率が全体の約6割を占めており、「キ. 無職」と答えた方が最も多くなっています。
 ②女性で「ア. 会社員・公務員」または「オ. アルバイト・パート」と答えた方の割合を合計すると30.6%を占めています。

問6. あなたは、佐々町に住んで何年になりますか。

- ア. 3年未満 イ. 3年以上10年未満 ウ. 10年以上

設問	回答/性別	男性		女性		合計	
		数値	割合	数値	割合	数値	割合
問6	ア	25	4.0%	56	5.3%	81	4.8%
	イ	52	8.4%	136	12.9%	188	11.2%
	ウ	536	86.6%	862	81.5%	1,398	83.4%
	回答なし	6	1.0%	4	0.4%	10	0.6%
	計	619	100.0%	1,058	100.0%	1,677	100.0%

<考察>

- ①男性・女性とも「ウ. 10年以上」と答えた方が8割を超えており、全体でも83.3%となっています。

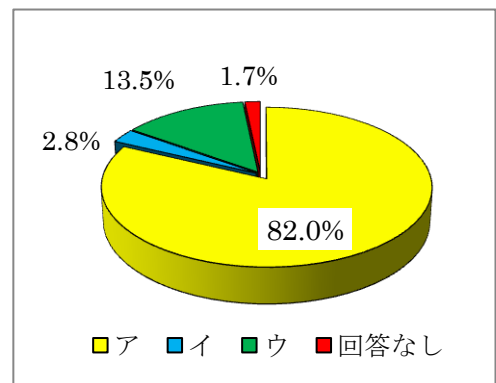
問7. あなたは、今後も佐々町に住み続けたいですか。

- ア. はい イ. いいえ ウ. わからない

設問	回答/性別	男性	女性	合計
問7	ア	512	863	1,375
	イ	18	29	47
	ウ	78	149	227
	回答なし	11	17	28
	計	619	1,058	1,677

<考察>

- ①男性・女性とも「ア. はい」と答えた方が8割を超え、全体でも82%を占めています。



問8. あなたは、町内会の人と、どの程度のお付き合いをしていますか。

【該当するもの、1つに○を付けてください。】

- ア. 困った時に助け合える親しい友人がいる。 イ. 立ち話をする程度の人がある。
 ウ. あいさつをする程度の人がある。 エ. ほとんど、付き合いはない。
 オ. その他 ()

設問	回答/性別	男性		女性		合計	
		数値	割合	数値	割合	数値	割合
問8	ア	220	35.5%	449	42.4%	669	39.9%
	イ	229	37.0%	383	36.2%	612	36.5%
	ウ	138	22.3%	163	15.4%	301	17.9%
	エ	21	3.4%	45	4.3%	66	3.9%
	オ	8	1.3%	11	1.0%	19	1.1%
	回答なし	3	0.5%	7	0.7%	10	0.6%
	計	619	100.0%	1,058	100.0%	1,677	100.0%

<考察>

- ①男性・女性とも、「ア. 困った時に助け合える親しい友人がいる。」または、「イ. 立ち話をする程度の人がある。」と回答した方の合計が7割を超えており、全体でも76.4%を占めています。
 ②「エ. ほとんど、付き合いはない。」と回答した方が、前回(平成19年)の調査結果1.9%から3.9%と約2倍になっています。

問9. あなたは、過去1年間に町内会で行われた、次のような活動に参加したことがありますか。【該当するもの、全てに○を付けてください。】

- ア. 盆踊り、お祭り、運動会などの催しもの
 イ. 趣味・教養講座、サークルなど学習に関するもの
 ウ. 廃品回収、公園掃除、リサイクルなどの環境美化活動
 エ. 子ども会、青年団、婦人会、老人クラブなどの団体、グループ活動
 オ. 地域の公民館・集会所で行われる敬老会、地域デイサービスなど
 カ. 参加したことがない。
 キ. その他 ()

設問	回答/性別	男性		女性		合計	
		数値	割合	数値	割合	数値	割合
問9	ア	283	25.6%	457	21.6%	740	23.0%
	イ	64	5.8%	203	9.6%	267	8.3%
	ウ	296	26.7%	554	26.2%	850	26.4%
	エ	140	12.6%	394	18.6%	534	16.6%
	オ	175	15.8%	264	12.5%	439	13.6%
	カ	130	11.7%	198	9.4%	328	10.2%
	キ	14	1.3%	26	1.2%	40	1.2%
	回答なし	5	0.5%	20	0.9%	25	0.8%
	計	1,107	100.0%	2,116	100.0%	3,223	100.0%

<考察>

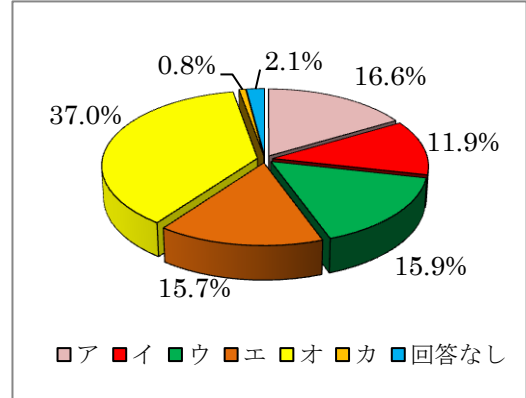
- ①男性・女性とも「ウ. 廃品回収、公園掃除、リサイクルなどの環境美化活動」と回答した方が最も多く、全体でも26.4%となっています。
 ②「カ. 参加したいことがない」と答えた方も、全体で1割程度おられます。

問 10. あなたは、福祉のどの分野を充実して欲しいと思いますか。

【充実して欲しいもの、2つに○を付けてください。】

- ア. 子どものための福祉
- イ. ひとり親世帯のための福祉
- ウ. 障がい者のための福祉
- エ. 経済的に恵まれない人のための福祉
- オ. 高齢者のための福祉
- カ. その他 ()

設問	回答/性別	数 値		
		男性	女性	合 計
問 10	ア	162	342	504
	イ	104	258	362
	ウ	156	329	485
	エ	180	297	477
	オ	457	670	1,127
	カ	6	17	23
	回答なし	26	37	63
	計	1,091	1,950	3,042



<考察>

- ①男性・女性とも「オ. 高齢者のための福祉」と回答された方が最も多く、全体でも 37.0%を占めています。
- ②その他の意見で「バランス良く、どの分野も良くして欲しい。」との意見がありました。

問 11. これから必要になると思われる具体的な福祉サービスを次の中から選んでください。【該当するもの、3つに○を付けてください。】

- ア. 車イスの人でも利用できるタクシーやバスなどの移送サービス
- イ. 高齢者・障がい者などを対象にした、緊急時に備えた見守りサービス
- ウ. 元気な高齢者を対象にした介護予防を目的としたサービス
- エ. 未就園児などを対象にした保育や一時預かりなどの子育て支援サービス
- オ. 福祉の専門的な相談に対応できる総合的な相談支援サービス
- カ. 障がい者の就労支援や地域での生活を支援するサービス
- キ. その他 ()

設問	回答/性別	男性		女性		合計	
		数値	割合	数値	割合	数値	割合
問 11	ア	245	15.3%	423	15.2%	668	15.2%
	イ	418	26.1%	703	25.3%	1,121	25.6%
	ウ	228	14.2%	343	12.4%	571	13.0%
	エ	229	14.3%	446	16.1%	675	15.4%
	オ	274	17.1%	500	18.0%	774	17.7%
	カ	170	10.6%	303	10.9%	473	10.8%
	キ	11	0.7%	18	0.6%	29	0.7%
	回答なし	29	1.8%	41	1.5%	70	1.6%
	計	1,604	100.0%	2,777	100.0%	4,381	100.0%

<考察>

- ①男性・女性とも「イ. 高齢者・障がい者などを対象にした、緊急時に備えた見守りサービス」と回答された方が最も多く、前回の調査と同様の結果となっています。

問 14. あなたは、障害者自立支援法を知っていますか。

ア. 良く知っている。 イ. 名称だけ知っている。 ウ. 知らない。

設問	回答/性別	男性	女性	合計
問 14	ア	14.4%	11.1%	12.3%
	イ	58.6%	59.7%	59.3%
	ウ	24.7%	27.0%	26.2%
	回答なし	2.3%	2.2%	2.2%
	計	100.0%	100.0%	100.0%

<考察>

- ①「ア. 良く知っている」または「イ. 名称だけ知っている」と答えた方が全体の71.6%を占めています。
- ②前回調査で「知らない」と答えた方が62.3%ありましたが、今回の調査では26.2%と大きく減少しています。

問 15. あなたは社会福祉協議会が行っている日常生活自立支援事業（旧地域福祉権利擁護事業）を知っていますか。

ア. 良く知っている。 イ. 名称だけ知っている。 ウ. 知らない。

設問	回答/性別	男性	女性	合計
問 15	ア	12.8%	10.5%	11.3%
	イ	39.4%	41.5%	40.7%
	ウ	44.9%	45.0%	45.0%
	回答なし	2.9%	3.0%	3.0%
	計	100.0%	100.0%	100.0%

<考察>

- ①「ウ. 知らない」と答えた方が45.0%と最も多くなっています。
- ②「ア. 良く知っている」または「イ. 名称だけ知っている」と答えた方が、全体の52.0%を占めています。

問 16. あなたは、認知症や精神障がい者などの判断能力が十分でない方の財産や権利をまもる「成年後見制度」を知っていますか。

ア. 良く知っている。 イ. 名称だけ知っている。 ウ. 知らない。

設問	回答/性別	男性	女性	合計
問 16	ア	18.4%	18.5%	18.5%
	イ	43.5%	41.5%	42.2%
	ウ	36.0%	38.1%	37.3%
	回答なし	2.1%	1.9%	2.0%
	計	100.0%	100.0%	100.0%

<考察>

- ①「ア. 良く知っている」または「イ. 名称だけ知っている」と答えた方が、全体の60.7%を占めています。

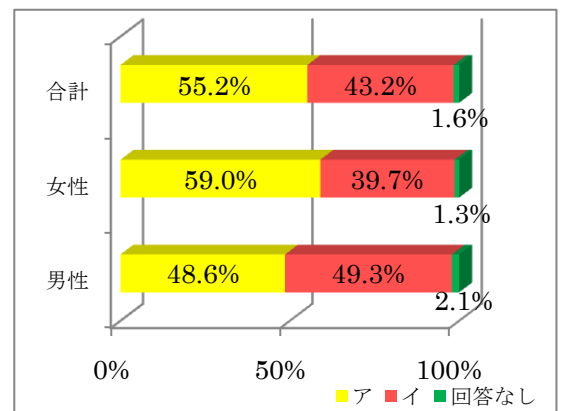
問 17. あなたは、お住まいの地域の民生児童委員を知っていますか。

ア. 知っている イ. 知らない

設問	回答/性別	割合		合計	
		男性	女性	数値	割合
問 17	ア	48.6%	59.0%	925	55.2%
	イ	49.3%	39.7%	725	43.2%
	回答なし	2.1%	1.3%	27	1.6%
	計	100.0%	100.0%	1,677	100.0%

<考察>

- ①全体では、「ア. 知っている」が55.2%と過半数を占めていますが、男性の回答結果では「イ. 知らない」が49.3%あり、「ア. 知っている」を0.7ポイント上回っています。



問 18. もし、あなた、またはご家族に介護が必要となった時、だれに相談しますか。

【該当するもの、全てに○を付けてください。】

- ア. 友人・知人 イ. 行政の職員 **ウ. 社会福祉協議会の職員**
 エ. 親戚 オ. 民生児童委員 カ. その他 ()

設問	回答/性別	男性	女性	合計
問 18	ア	15.3%	18.5%	17.3%
	イ	25.9%	20.4%	22.4%
	ウ	23.2%	25.7%	24.8%
	エ	20.5%	23.0%	22.1%
	オ	11.9%	9.1%	10.1%
	カ	2.3%	2.7%	2.6%
	回答なし	1.0%	0.6%	0.7%
	計	100.0%	100.0%	100.0%

<考察>

①「ウ. 社会福祉協議会の職員」と答えた方が 24.8%と最も多く、次いで「イ. 行政の職員」が 22.4%、「エ. 親戚」22.1%の順となっています。

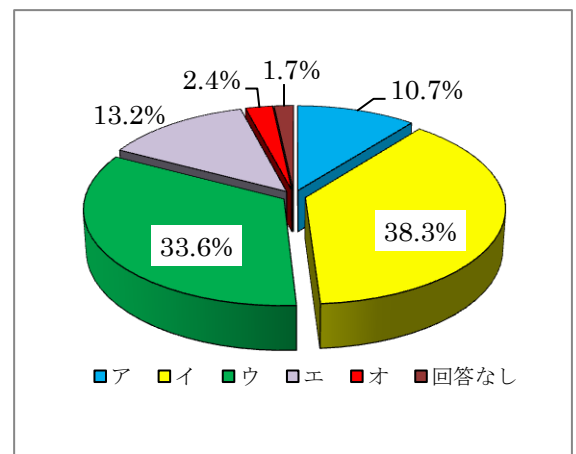
問 19. あなたが年をとって、もし、寝たきりになったら、どのように生活したいですか。【該当するもの、1つに○を付けてください。】

- ア. 配偶者や子どもだけに世話をしてもらい、自宅で生活したい。
イ. 福祉サービスを利用して自宅で生活したい。
 ウ. 福祉サービスを利用して老人福祉施設で生活したい。
 エ. 病院など医療機関に入院して生活したい。
 オ. その他 ()

設問	回答/性別	男性		女性		合計	
		数値	割合	数値	割合	数値	割合
問 19	ア	105	17.0%	75	7.1%	180	10.7%
	イ	222	35.9%	420	39.7%	642	38.3%
	ウ	177	28.6%	387	36.6%	564	33.6%
	エ	84	13.6%	137	12.9%	221	13.2%
	オ	19	3.1%	22	2.1%	41	2.4%
	回答なし	12	1.9%	17	1.6%	29	1.7%
	計	619	100.0%	1,058	100.0%	1,677	100.0%

<考察>

- ①「イ. 福祉サービスを利用して自宅で生活したい」と答えた方が、男性で 35.9%、女性で 39.7%、全体でも 38.3%を占めています。
 ②「ア. 配偶者や子どもだけに世話をしてもらい、自宅で生活したい」または「イ. 福祉サービスを利用して自宅で生活したい」と答えた方を合計すると、全体の 49.0%と約半数を占めております。
 ③「ア. 配偶者や子どもだけに世話をしてもらい、自宅で生活したい」と回答した方が、女性では 7.1%に対し男性では 17.0%と 2 倍以上になっています。



問 20. あなたは、老後の備えとして行っていることが、何かありますか。

【該当するもの、全てに○を付けてください。】

- ア. 生活の安定のために、貯蓄などに努めている。
- イ. スポーツや規則正しい生活を心がけ、健康の維持に努めている。
- ウ. 趣味や友人との交流など、生きがいを見つけるように努めている。
- エ. 特に意識していることはない。

設問	回答/性別	男性		女性		合計	
		数値	割合	数値	割合	数値	割合
問 20	ア	169	19.4%	349	22.6%	518	21.4%
	イ	251	28.8%	418	27.1%	669	27.7%
	ウ	241	27.7%	454	29.4%	695	28.8%
	エ	194	22.3%	272	17.6%	466	19.3%
	回答なし	16	1.8%	52	3.4%	68	2.8%
	計	871	100.0%	1,545	100.0%	2,416	100.0%

<考察>

①「ウ. 趣味や友人との交流など、生きがいを見つけるように努めている。」と回答した方が 28.8%で最も多く、次いで「イ. スポーツや規則正しい生活を心がけ、健康の維持に努めている」と回答した方が 27.7%となっています。

問 21. ボランティア活動に参加したいと思いますか。

【該当するもの、1つに○を付けてください。】

- ア. すでに参加している。
- イ. 参加してみたい。
- ウ. 参加したくない。
- エ. 分からない。
- オ. その他 ()

設問	回答/性別	男性		女性		合計	
		数値	割合	数値	割合	数値	割合
問 21	ア	103	16.6%	162	15.3%	265	15.8%
	イ	164	26.5%	284	26.8%	448	26.7%
	ウ	73	11.8%	98	9.3%	171	10.2%
	エ	223	36.0%	398	37.6%	621	37.0%
	オ	32	5.2%	58	5.5%	90	5.4%
	回答なし	24	3.9%	58	5.5%	82	4.9%
	計	619	100.0%	1,058	100.0%	1,677	100.0%

<考察>

- ①男性・女性とも「エ. 分からない」と回答した方が、最も多く全体でも 37.0%を占めており、過去 2回の調査と同様の結果になりました。
- ②「ア. すでに参加している」または「イ. 参加してみたい」と答えた方が、合わせて 42.5%を占めています。
- ③「ウ. 参加したくない」と回答された方が 10.2%あり、前回の 5.3%の約 2倍に増えています。

問 22. あなたがボランティア活動を行うとしたら、どのような活動に参加したいですか。

【該当するもの、3つに○を付けてください。】

ア. 公園の清掃や空き缶拾いなどの環境美化活動

イ. 中古衣料の海外への物資援助活動やリサイクル活動

ウ. 使用済み切手やプリペイドカードの収集活動

エ. 高齢者や障がい者などの施設訪問活動

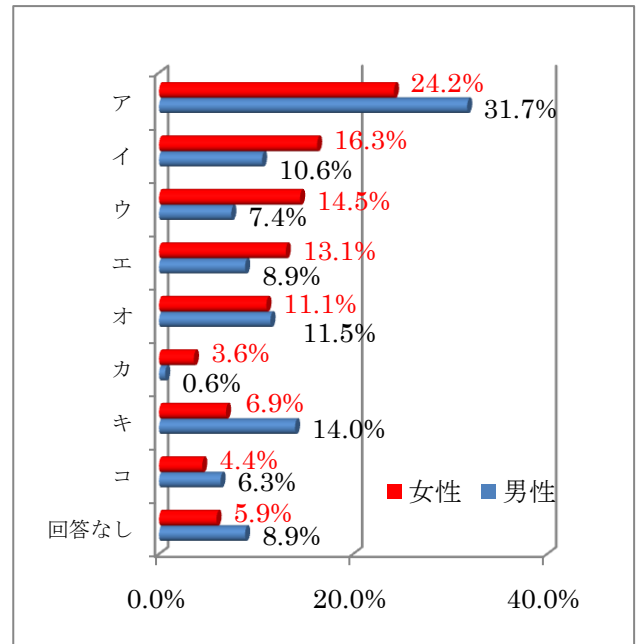
オ. 学校、子ども会などの子育て支援活動

カ. 点訳・音訳、手話通訳などの活動

キ. 災害時の救援ボランティア活動

ク. 募金や義援金などの呼びかけ

設問	回答/性別	男性	女性	合計	
				数値	割合
問 22	ア	401	593	994	26.8%
	イ	134	399	533	14.4%
	ウ	94	356	450	12.1%
	エ	112	320	432	11.6%
	オ	145	271	416	11.2%
	カ	8	88	96	2.6%
	キ	177	169	346	9.3%
	ク	80	109	189	5.1%
	回答なし	112	145	257	6.9%
	計	1,263	2,450	3,714	100.0%



<考察>

- ① 「ア. 公園の清掃や空き缶拾いなどの環境美化活動」と答えた方が男性・女性とも最も多く、全体でも 26.8% を占めています。
- ② 「カ. 点訳・音訳、手話通訳などの活動」を選んだ方は男性が 0.6%、女性では 3.6% と最も少なくなっています。

問 23. あなたは、社会福祉協議会のことをご存知ですか

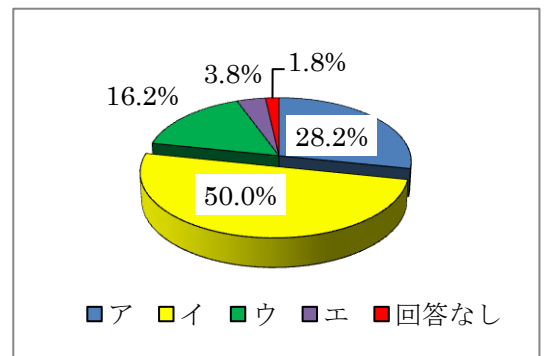
ア. よく知っている。

イ. 名前と場所は知っている。

ウ. 名前は知っているが、場所は知らない。

エ. 全く知らない。

設問	回答/性別	数 値		合 計	
		男 性	女 性	数値	割合
問 23	ア	180	293	473	28.2%
	イ	304	535	839	50.0%
	ウ	101	170	271	16.2%
	エ	25	39	64	3.8%
	回答なし	9	21	30	1.8%
	計	619	1,058	1,677	100.0%



<考察>

- ① 「イ. 名前と場所は知っている」と回答した方が全体の半数 50% を占めており、前回の 38.9% から、大きく増加しています。
- ② 「エ. 全く知らない」と答えた方は今回 3.8% と、前回調査の 6.3% から減少しています。

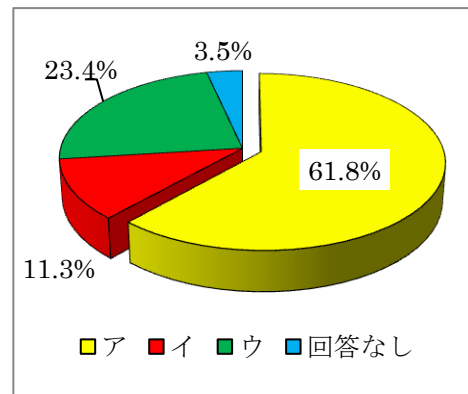
問 24. 社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金や歳末助け合い募金を行っていますが、今後も各種の募金活動は必要だと思いますか。

ア. 必要だと思う。

イ. 思わない。

ウ. わからない。

設問	回答/性別	男性	女性	合計
問 24	ア	62.0%	61.6%	61.8%
	イ	13.6%	9.9%	11.3%
	ウ	21.2%	24.8%	23.4%
	回答なし	3.2%	3.7%	3.5%
	計	100.0%	100.0%	100.0%



<考察>

- ①「ア. 必要だと思う」と答えた方が全体で 61.8% を占めています。
- ②「ウ. わからない」と答えた方が、全体で 23.4% を占めています。

問 25. 社会福祉協議会では、次のような事業を実施していますがご存知ですか。

【知っているもの、全てに○を付けてください。】

ア. ホームヘルパー派遣事業

イ. 心配ごと相談・弁護士無料法律相談

ウ. 募金活動（共同募金など）

エ. 災害ボランティア研修会

オ. 地域デイサービス事業

カ. 配食サービス

キ. 福祉スクール・福祉教室

ク. 伝統芸能伝承活動「観月会」

ケ. 生活福祉資金貸付金制度

コ. 囲碁・将棋交流大会

サ. 訪問介護事業

シ. 通所介護事業

ス. 地域福祉権利擁護事業

セ. 社会福祉ボランティア大会

ソ. 居宅介護支援事業

タ. 福祉用具の貸出事業

チ. もちつき大会

ツ. ひな人形、五月人形の展示

設問	回答	数 値		合 計		回答	数 値		合 計	
		男性	女性	数値	割合		男性	女性	数値	割合
問 25	ア	386	697	1,083	9.5%	サ	365	645	1,010	8.8%
	イ	275	557	832	7.3%	シ	145	333	478	4.2%
	ウ	416	761	1,177	10.3%	ス	59	96	155	1.4%
	エ	57	83	140	1.2%	セ	157	304	461	4.0%
	オ	431	819	1,250	10.9%	ソ	221	420	641	5.6%
	カ	313	652	965	8.4%	タ	181	362	543	4.8%
	キ	105	255	360	3.2%	チ	167	390	557	4.9%
	ク	162	300	462	4.0%	ツ	124	352	476	4.2%
	ケ	144	285	429	3.8%	回答なし	52	58	110	1.0%
	コ	129	163	292	2.6%	計	3,889	7,532	11,421	100.0%

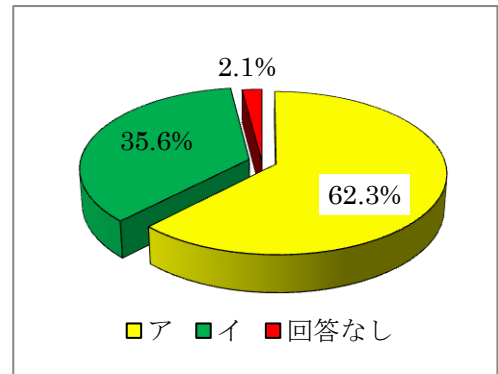
<考察>

- ①「オ. 地域デイサービス事業」と答えた方が 10.9% で最も多く、次いで「ウ. 募金活動（共同募金など）」が 10.3%、「ア. ホームヘルパー派遣事業」が 9.5% となっています。

問 26. あなたは、災害時の避難場所をご存知ですか。

ア. 知っている。 イ. 知らない。

設問	回答/性別	男性	女性	全体
問 26	ア	64.6%	61.0%	62.3%
	イ	32.6%	37.3%	35.6%
	回答なし	2.7%	1.7%	2.1%
	計	100.0%	100.0%	100.0%



<考察>

①「ア. 知っている」と答えた方が男女とも6割を超え、全体でも62.3%となっています。

問 27. あなたは、万が一の災害が起こった時のことを想定した備えが必要だと思いますか。

ア. 必要だと思う。 イ. 思わない。 ウ. 分からない。

設問	回答/性別	男性	女性	合計
問 27	ア	90.3%	88.8%	89.3%
	イ	1.8%	0.7%	1.1%
	ウ	5.8%	8.9%	7.8%
	回答なし	2.1%	1.7%	1.8%
	計	100.0%	100.0%	100.0%

<考察>

①「ア. 必要だと思う」と答えた方が全体で89.3%を占めており、災害に対する関心が高い事を表しています。

問 28. 社会福祉協議会では、毎月、佐々町が発行する「広報さざ」にて福祉の情報提供を行っています、ご存知ですか。

ア. 毎月、欠かさず読んでいます。 イ. 興味がある記事の時は読んでいます。
ウ. 見出し程度は読んでいます。 エ. 読んでいない。 オ. 知らない。

設問	回答/性別	男性		女性		合計	
		数値	割合	数値	割合	数値	割合
問 28	ア	249	40.2%	379	35.8%	628	37.4%
	イ	201	32.5%	436	41.2%	637	38.0%
	ウ	103	16.6%	178	16.8%	281	16.8%
	エ	42	6.8%	37	3.5%	79	4.7%
	オ	16	2.6%	18	1.7%	34	2.0%
	回答なし	8	1.3%	10	0.9%	18	1.1%
	計	619	100.0%	1,058	100.0%	1,677	100.0%

問 29. 社会福祉協議会では、自作のホームページによる情報提供を行っています、ご存知ですか。

ア. 知っている。 イ. 知らない。 ウ. その他 ()

設問	回答/性別	男性	女性	合計
問 29	ア	15.2%	11.2%	12.6%
	イ	80.1%	82.3%	81.5%
	ウ	1.1%	1.7%	1.5%
	回答なし	3.6%	4.8%	4.4%
	計	100.0%	100.0%	100.0%

<考察>

①「イ. 知らない」と答えた方が全体の8割を超えており、広報活動の必要性を表しています。

「ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。」

(※皆様より寄せられましたご意見の中には、個別の事例や内容の不明確なものが含まれておりましたので、代表的なご意見を抜粋して記載しておりますのでご了承をお願いします。

A. 広報・啓発活動について

1. 老若男女に情報提供するには「文字」だけの表現は難しいと思います。マンガやアニメーションなどを使って、気軽に、目をひくディスプレイ等を活用すると効果的だと思います。【男性 30 代】
2. 第 3 回調査と書いてあるが初めて目にしました。自作のホームページとあるが、佐々町のホームページとリンクされていないのでは。社会福祉関連では町民は大変興味があると思うので、もっと PR を頑張ってください。アンケート結果は広報さざに掲載してください。広報さざを見たら社会福祉協議会のページがあるのを初めてみました。「福祉協議会」からのお知らせのタイトルを大きく。【男性 50 代】
3. 今は特に必要を感じないことも、いずれ必要になることもあると思うので、いざという時のために、すぐに調べられるようにホームページは詳しく情報をのせておいて頂きたいと思います。【女性 40 代】
4. 福祉、介護関係というものが、1つの機関で行われていると思っていたが、介護サービスを受ける者が出て、初めて段階によって窓口が違うことを知った。また、手続きもお年寄り相手には面倒な事が多いようだ。なかなか該当者が出ないと、知り得ない事が多い。根本的な内容の広報があると良いのかもしれない。【女性 40 代】
5. もっと詳しく、どんな事をしてくれるのか情報が欲しいです。電話をしなくてもある程度の情報が欲しい。どんな時に何処に連絡して良いのか。全く分かりません。広報誌は町内会に入っていないと回って来ないのは、不公平だと感じます。広報が来ない世帯には、全くと言っていいほど、情報がないと思われれます。困っている方からの連絡を待っているだけではなく、持っている情報で分かる世帯への見回りのような事も必要だと思います。(一人暮らし高齢者、子育て世帯) 【女性 40 代】
6. 社協というより、町の事業実施と思っていました。今後、高齢者の増加が見込まれるので、PRをもっとしていただき、安心して暮らせる町にしていただけると、佐々町にも住み続けたいと思うかもしれません。【女性 50 代】
7. ホームページアドレスが広報誌に表示されていないのでホームページがあるとは知らなかった。【女性 60 代】

B. 制度・行政・各福祉サービスなどについて

1. 一人暮らし高齢者が佐々町も今後増え、様々な課題も予想されます。低所得者・高齢者などに対応できる法定後見の法人後見も検討が必要です。【男性 40 代】
2. 認知症の方との対応等、分かっている、つついづい優しくなれず、また一人での介護は大変で他の方々がどのように生活して対応されているのだろう。と思う日々もあり民生委員の方々に相談したりしています。民生委員の方々など感謝します。地域デイサービスのお手伝いの方も気持ち良く母親を見ていただき、安心して仕事が出来て助かっています。ありがとうございます。【男性 50 代】
3. 介護保険が高くなるようですが、安易に高くすることだけに走らず、正確な使途計画を立て、出来るだけ安定した保険料をめざしてほしい。介護保険を使わなくても生活できる健康な老人のためにお祝い金（物）などの制度は如何でしょうか。励みになるのではと思います。【男性 60 代】
4. 職業としての形式的な介護でなく、相手の身になった心配りのある心のこもった介護を行って下さい。【男性 60 代】
5. 社協では様々な事業展開をされているが、その事業が、期待された成果を上げているかを常々検討し存続の必要性を鑑みて進めてもらいたい。民生委員との連携プレーを期待する。【男性 60 代】
6. 国民年金は満額支給されても、たいした金額でない。一方、厚生年金は十分とはいかなくても一応、生活できる金額。年金は一本化し、誰もが年金で老後を豊かに生活できるように法の改正が必要では。若い人が国民年金を払わないのも解るような気がする。弱者にやさしい福祉行政を行って欲しい。【男性 60 代】
7. 他町（佐世保市・平戸市）と比べて、サービス・費用・経費・人員など比較するとおもしろいのではないのでしょうか。【男性 60 代】
8. 佐々町も佐世保市や松浦市、平戸市でやっている婚活支援の場を希望します。
【男性 70 代】
9. 地域における組織的な福祉活動ができるような住民組織をつくる研修会を地域でやってほしい。【男性 80 代】
10. 現代の福祉事業は至れり尽せり充実しており要望等は特にないが、お互いがあまりにも福祉サービスに頼りすぎると思う。自分の健康は自分で管理するという意識を強く持って、生活をするように互いが声かけ合って介護予防に務めるべきだと思う。社会福祉協議会での事業に熱心に取り組んで頂き感謝しております。いろいろ問題があると思いますが増々の事業の発展をされるようお願いしております。【男性 80 代】
11. 障がい者や体の不自由になった人のために、分かりやすくサービスを利用できるようにしてほしい。特に書類等が分かりにくい点を改善してほしい。【女性 20 代】
12. 児童や障害者の福祉サービスも充実してほしいと思います。【女性 20 代】

13. 子どものための福祉も大事ですが、今まで社会を支えて来たのは、現在の高齢者なので、もっとお年寄りのために尽くしてもいいと思います。【女性 30 代】
14. 今は高齢者福祉というよりは、子育て支援の方に必要性を感じていますが、専門家のアドバイスを受けられる機会があれば良いと思います。【女性 30 代】
15. 子どもの医療費の窓口負担金を佐世保市のようにして欲しいです。また、預かり保育サービスの充実を希望します。【女性 30 代】
16. 社会福祉と、ひとまとめで言われても、事業内容が分かりにくいので募金等よく町内会で集められるが、はっきり言って出したいと思わない。役場で福祉課に行っても、子どもの医療費申請ぐらいしか行かないので、こういうアンケートで、始めて知った事が多かったです。私たちは、これから使用することがあると思うので、少し興味が出ました。【女性 30 代】
17. 募金の回数が多すぎる。募金なのに金額を指定しているので不愉快だ。税金でまかなえないのか。【女性 30 代】
18. 子どもが病気になった時に面倒を見てくれる施設がないので、病気の時でも保育してくれる事業をお願いします。老人には病院などへ付添ってくれるヘルパーが居られます。子どもを大事に、充実し安心できる環境が欲しい。子どもを療育してくれる、病院にも付添ってくれるような、良い環境を。老人老人で納得いかない。
【女性 30 代】
19. 高齢化社会の中、佐々町には施設がありますが、入所者の順番待ちと聞きました。市町村合併で他町への入所も不可能な状況を聞いていますが、新しい施設を建てる他、対策はどうされているのでしょうか。私はまだ 40 代でほど遠い話として介護を認識していますが、これから佐々町に住み続けるかは思案中です。高齢化社会の中、佐々町にはその分野で力を入れて欲しいと願っています。【女性 40 代】
20. 老人福祉にばかり偏っていませんか。障がい者や子どもへの福祉も、もっとやって欲しいと思います。【女性 50 代】
21. 社協だけに限った事ではないが、福祉を標榜して募金活動などしておられるが、トップの人たちの天下り先になっているのではないのでしょうか。募金が正しく使われていないのではないかと、疑ってしまう。【女性 50 代】
22. 寝たきりになる前に早い段階で老化予防や認知症予防の勉強会をもっと細かく（公民館など）定期的に行う。【女性 50 代】
23. 介護保険制度が出来てからサービスの制約が多くなったと思う。個々に対してきめ細やかなサービスの提供は出来ないのだろうか。町独自のサービス基準を作って福祉の町になる事は出来ないのか。佐々町は福祉の町として発展して欲しい。子どもと老人の福祉の町へ、もっと老人を活用して下さい。遠方では出来ないが、近くでは何か出来るかもしれません。【女性 60 代】

24. 高い介護保険料を払っているのだから、それに見合う充実した福祉を提供できる佐々町にして欲しい。【女性 60 代】
25. ボランティアに気軽に参加できるような研修会があれば教えてもらいたい。
【女性 60 代】
26. 放課後の学童保育について、3 年生までの基準が分からない。学童保育は保護者にとっては 6 年生まで必要なのではないですか。低学年の面倒をみる高学年は人間的な育成にもなると思う。【女性 60 代】
27. 有料でも良いから介護を必要としない老人が何となく寄って過ごせる施設があれば良いと思う。【女性 60 代】
28. 福祉で繁栄した市町村はない。お金を最優先するのは何か。無駄使いはないか。本当に必要なのか。甘く処理されていないか。(昇給など) 財源を心配するのは私だけでしょうか。【女性 70 代】
29. 避難場所が遠い場合、近くの関係施設などの避難場所が利用できるように便宜を図ってもらいたい。【女性 70 代】
30. 高齢者でも必要以上に(配食サービスなど)受けずに、自分で出来る事は自分で行う。最近、あまりにも人(福祉)に頼る人を見かけます。それは税金の無駄だと思います。年行っても自分の出来る事は、出来るだけ自分です。最も良い生き方だと思います。【女性 70 代】
31. 佐々町社協の取組みは、とても素晴らしいと思います。これから、もっと良くなって欲しい事は人と人の繋がりです。老若男女、ご近所があったかい繋がりを育てていくような取組みがあったら良いと思います。新しくなった町内会の公民館には、いつも鍵がかかっている状態です。町内が小さな子どもたちを中心に、皆が手を繋いでいける町になれたらと思います。【女性 70 代】
32. 現在、地域デイサービスを年 10 回受けていますが、できたら今の倍ぐらいに増やしてほしい。時間も 10 時~1 時までですが、3 時ぐらいまで延長してください。
【女性 80 代】

C. アンケートについて

1. 意識調査をするなどとは言わないが、調査を今後どのように役立てて行くのかの説明がなされていない。また、過去の調査についても役立っているとは思われない。調査のための調査なら止めた方がよい。【男性 70 代】
2. 本調査の趣旨を明記してもらいたい。個人情報なので、くれぐれも取扱いに注意してもらいたい。【男性 60 代】
3. アンケートに答えながら社協の仕事を知らないことに驚きました。私だけでは無いと思いますので、もっと、町民が分かるようになれば福祉に参加する思いやりの優しい佐々町民が増えるだろうと今回思いました。【女性 40 代】

D. その他

1. 知らない事ばかりですいません。もっと目を向けるように心掛けます。【男性 30 代】
2. 福祉のあり方の見直しが必要だと思われます。本当に必要な福祉であるか。また、老人に対する言葉遣いの見直し（ヘルパーさん達）【男性 40 代】
3. 紙ムダと思う。人もムダな働きはやめろ。その分の税金をへらせ。まったくナンセンス。【男性 50 代】
4. 独自の福祉事業を他に劣らない特徴を持った町に発展してもらいたい。【男性 50 代】
5. 何のためのアンケートなのか、目的がはっきりしない。ただ項目だけのアンケートで町政や会の運営に反映させたいのか、さっぱりわからない。何か新しい事業を考えているのか。地域デイサービスは町内会の負担である。サービスする側への謝礼を十分手当せず役場や協議会の負担軽減のために実施している。サービス提供を一か所に集めて協議会の職員で行うべき。日時をずらせば可能。【男性 60 代】
6. 社協の一部の職員が高齢者支援活動の時に「お前達の健康管理をしてやっているのだ」と思われる高飛車で相手を馬鹿にした言葉遣いをする方がいらっしゃいます。意識改革をしていただきたい。お願いします。【男性 70 代】
7. 今年の平均気温は世界的に 160 年間で最高の気温となった。それに付随して発生するであろう海上の上昇・台風・高潮の対策が非常に遅れていると思う。【男性 70 代】
8. 老人作品展を 3 日間の日程で実施するとよい。良い作品はその人が売って生活費や小遣いにすることが出来ると考えます。また、一般の方へ見て頂くと町づくりにつながると思う。【男性 70 代】
9. 福祉の事をもっと勉強したい。今までは、あまり知らなすぎだ。【男性 70 代】
10. 佐々町は福祉、高年齢に就いては充実していると思う。【男性 80 代】
11. 福祉の資格をとりたい。【女性 30 代】

12. 県外からの移転者です。かつて社協にご相談に何度か行き、利用させていただきました。職員の方の対応に、とてもショックを受け驚きで、それ以来すべての利用を控えさせて頂いています。思いやり、いたわる心を持ってこそ「福祉の原点」ではないでしょうか。【女性 40 代】
13. 社協の事業を利用しているのは限られた一部の人であり、ひとり暮らしの高齢者で何も知らず、亡くなる方も多し。皆が平等に参加できるように。【女性 40 代】
14. 福祉の仕事に携わる人は資格よりも、人間性を重視して欲しい。【女性 50 代】
15. 最近、ホームページを見て下さい。ホームページから申込受付とか、ありますが全ての方がパソコンを持っている訳ではありません。人と人が直接、顔が見える所で接したい。私みたいな者がいる事も忘れないで欲しい。【女性 60 代】
16. 一般企業と少し異なり、間口というか、入りにくいように思います。溶け込みにくいのでは。【女性 60 代】
17. 社協の事を名前は知っていても活動状況は知らない。これから、もっと関心を持って広報等を読みたいと思いました。【女性 60 代】
18. 佐々に移り住んで、まだ日が浅いので良く分かりません。これから広報等を詳しく読ませていただきます。【女性 60 代】
19. 主人は佐々町から平戸へ住所を移し、96 歳の認知症の介護をしているため、時々しか佐々へは帰って来ない。2人でみても、とても大変で自分の時間がない。私のような人が居られたら、いろいろなアイデアを出して協力をして欲しい。【女性 60 代】
20. 比較的元気で自由な時間のある高齢者、まだある力の活用法。皆で支え合い町づくりの基盤。身近な場所から心したいと思います。【女性 60 代】
21. 今まで社協の方々には言葉でつくせない程、お世話になりました。個人や家族だけでは解決できない問題に相談にのっていただき助かりました。感謝のみです。他の町民の方々にも社協の事を良く知っていただき、悩みを解消していただきたいと思っています。【女性 60 代】
22. 知らない事が多く、今後、知人等に聞いたりして知識を広めたいと思いました。
【女性 70 代】
23. これ以上の要望はありません。アンケートを閲覧することで知ることも多く、心強く感じています。これからは高齢者の一人として、あまり迷惑を掛けないように頑張らさせていただきます。【女性 70 代】
24. 元気で働いている時は他人事でしたが、要支援 1 になって初めて我が身の上となり、もっと早く、詳しく知るべきであったと思っています。福祉について知識も関心も足りなかったと反省しています。【女性 70 代】

4. おわりに

佐々町社会福祉協議会 事務局

今回の第3回佐々町住民福祉意識調査に対しましては、各町内会長様をはじめ、関係の皆さま方に特段のご配慮を賜わり厚くお礼申し上げます。

佐々町民の皆様より寄せられました、貴重なご意見をこれからの本社会福祉協議会の事業推進に少しでも生かして参りたいと存じております。

これからも、「佐々町民による町民のためのよりよい福祉」の実現をめざして、活動をして参りますので、これまで以上のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

今回の調査へご協力いただき、誠にありがとうございました。